

# ふじみさらだボール子育て情報

「自己調節」

令和6年11月27日号

板橋富士見幼稚園



## 遊びから学ぶ

人間は遊ぶ経験を積んで大人になるとよく言われます。子どもにとっての遊びは、大人から見ると無駄のように見えますが、この無駄の中に、社会で人と関わっていく上で大切な“人間力”と言われる力の源泉が潜んでいるのです。

それは人から押し付けられて学ぶ学びではなく、その都度自分で調節する感覚なのです。「加減」「試行錯誤」「塩梅」「思いめぐらす」「妥協」「協調」「回避」「逃避する」などの“適当な”感覚です。この適当さは、自己の遊びの体験の中から生まれるもので、人や物、場や道具・素材と出会う度に心が揺らぎ、自分らしい感覚が身についていきます。その感覚が、ある意味で性格や気質と言われるものにも繋がるのかもしれませんが。

学びの入口は、自分が「したい」「食べたい」「行きたい」「観たい」などの欲求や好奇心から始まり、疑問や不思議さを感じて、思いめぐらせる経験から興味や関心が沸き立ち、探求心から探求力へと思考が高まり人間力が培われていくのです。

遊びを通して、豊富な体験ができるようにしてあげると、物事を判断する時、体験で得た数多い知識と比較とすることで、正しい判断力を育ち持つことができます。

このように遊びの体験を保障してあげることが、幼児期の学びに繋がります。単に遊んでばかりいるように見えますが、実は、将来の人間力の基盤を学んでいるのです。自ら関わろうとする主体的な遊びを親子で楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 【作品展にむけて…】



想像の世界に浸りながら、思い切り製作活動を楽しんでいます